

平成30年12月6日

鹿児島市長 森 博 幸 殿

鹿児島市事業評価監視委員会
委員長 平田 登基男



平成30年度鹿児島市事業評価監視委員会における審議結果について（報告）

このことについて、下記のとおり報告いたします。

記

付議された社会資本総合整備計画「鹿児島市における水の安全・安心基盤整備計画」、
「鹿児島市における都市公園の整備推進と安全安心化」の各事後評価原案について、詳細
に審議を行った結果、一部表現の文言整理を行うことを条件として付した上で、いずれも
妥当であるものと認める。

(別紙)

事業評価監視委員会が出された主な意見

社会資本総合整備計画「鹿児島市における水の安全・安心基盤整備計画」

- ・処理場施設に関する効果の発現状況について、一般の人が見ても分かりやすい表現に工夫すべき。(谷山処理場、脇田分場についての記載)

社会資本総合整備計画「鹿児島市における水の安全・安心基盤整備計画」

- ・それぞれの指標について、結果だけではなく、内訳を事後評価シートに記載するか、ホームページ上に別途掲載すべき。

社会資本総合整備計画「鹿児島市における都市公園の整備推進と安全安心化」

- ・整備計画書や事後評価シートの事業内容に記載のない「平川動物公園」が、「効果の発現状況」でいきなり登場し、つながりが分かりにくいので、表現をもっと工夫すべき。

社会資本総合整備計画「鹿児島市における都市公園の整備推進と安全安心化」

- ・本件に関する評価指標の設定はなかなか難しいと思うが、せっかくバリアフリーなどを実施しているので、その効果を見るため、例えばアンケート調査の実施などについても検討すべき。

その他

- ・社会資本整備総合交付金について、様々な項目が多年度にわたって並行して実施されているが、交付金を使っている全体像を見ることができないか。現在、何本の事業を並行して実施しているのか、次回で良いので、その一覧をお示しいただきたい。